

科目名	成人急性期看護学演習Ⅲ Acute Care Adult Nursing SeminarⅢ		担当教員 (研究室番号)	船尾 浩貴 (302)		教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分		コース必修		単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
												遠隔授業	一部
科目目的	高度な管理を必要とする治療とその具体的援助について理解し、高度な看護実践能力の育成につなげる。												
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していける研究能力を身につけている。											
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。											
到達目標	1. 術後無気肺を予防するための看護援助について患者に行われる検査や訓練の体験を踏まえて理解することができる。 2. 侵襲の大きい治療や外因性疾患による問題とその具体的援助について理解することができる。 3. 侵襲の大きい手術が行われた術後の患者の状態を再現し、観察技術や看護援助のあり方を検討する。 4. 生命の危機的状況に患者とその家族の看護援助における多職種連携のあり方と看護の役割を理解することができる。												
成績評価方法(基準)	プレゼンテーション(60%)、レポート(40%)												
教科書	特に指定しない。												
参考書等	必要時に提示する。												
受講者へのメッセージ													
備考	課題については、説明資料として作成し提出すること。これをレポートとして評価する。後期後半に開講の予定。												
回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法									
1回	術後無気肺予防の看護援助①	術後無気肺予防についてプレゼンテーションを行い、その看護について検討する。	船尾	ライブ配信									
2回	術後無気肺予防の看護援助②	換気機能測定や器具を使った呼吸訓練を体験し、患者の苦痛を共有することから、術前看護のあり方を考える機会とする。	船尾	対面(演習)									
3回	術後無気肺予防の看護援助③	呼吸筋力測定を体験し、新たな呼吸機能の指標としての意義を検討する。 (次回課題: on- pumpでの開心術後の問題と看護)	船尾	対面(演習)									
4回	侵襲の大きい治療を受ける患者看護① 人工心肺を用いた開心術後の問題と看護	課題としたon- pumpでの開心術後の問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題: 大動脈バルーンパンピング実施患者の問題と看護)	船尾	ライブ配信									
5回	侵襲の大きい治療を受ける患者看護② 大動脈バルーンパンピング実施患者の問題と看護	課題とした開心術後に大動脈バルーンパンピングを実施している患者の問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題: 人工呼吸器装着患者の合併症と看護)	船尾	ライブ配信									
6回	侵襲の大きい治療を受ける患者看護③ 人工呼吸器装着患者の問題と看護	課題とした人工呼吸器装着患者が発症するリスクのある合併症とその予防について発表し、検討する。 (次回課題: 血液浄化療法と看護)	船尾	ライブ配信									
7回	侵襲の大きい治療を受ける患者看護④ 血液浄化療法と看護	課題とした血液浄化療法について発表し、その看護について検討する。 (次回課題: 重症熱傷患者への治療と看護)	船尾	ライブ配信									
8回	外因性疾患患者の看護① 重度熱傷患者の援助方法	課題とした重症熱傷患者への治療や問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題: 外傷患者への治療と看護)	船尾	ライブ配信									
9回	外因性疾患患者の看護② 外傷患者への治療と看護	課題とした外傷患者への治療や問題について発表し、その看護について検討する。 (次回課題: 人工呼吸管理を受ける患者の体験と看護)	船尾	ライブ配信									
10回	クリティカルケア看護援助①	CCUにおいて人工呼吸管理を受ける患者の体験を知り、看護について検討する。 (次回課題: 集中治療室における患者の体験と看護)	船尾	ライブ配信									
11回	クリティカルケア看護援助②	集中治療室で治療を受ける患者および家族の体験を知り、看護について検討する。 (次回課題: 生命の危機的状態にある患者看護における多職種連携の実践と意義のプレゼンテーション準備)	船尾	ライブ配信									
12回	クリティカルケアの場におけるチーム医療①	生命の危機的状態にある患者看護における多職種連携の実践と意義について文献や資料を用いてプレゼンテーションを行い看護の役割について検討する。 (次回課題: 生命の危機的状態にある患者の家族看護における多職種連携の実践と意義のプレゼンテーション準備)	船尾	ライブ配信									
13回	クリティカルケアの場におけるチーム医療②	生命の危機的状態にある患者の家族への看護における多職種連携の実践について文献や資料を用いてプレゼンテーションを行い看護の役割について検討する。 (次回課題: せん妄予防に関する文献検討)	船尾	ライブ配信									
14回	せん妄のアセスメントと看護①	術後などに発症するせん妄の判断と看護援助を具体的に検討する。	船尾	ライブ配信									
15回	せん妄のアセスメントと看護②	術後などに発症するせん妄の判断と看護援助を具体的に検討する。	船尾	ライブ配信									